

令和 6 年度

運営に関する計画



大阪市立鶴見小学校

大阪市立鶴見小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- ・ほとんどの児童がいじめはいけないこととわかっているが、絶対にいけないことであることと理解していく必要がある。
- ・コロナ禍をきっかけに、不登校児童数が少しずつ増えてきている。不登校児童に対する対策を組織的に進めていく必要がある。
- ・基本的な知識・技能は身につけているが、主体的・対話的な学習をさらに進め、発展的な学習を実践していく必要がある。
- ・学習が「わかる」児童の割合は全国平均を上回っている。個に応じた学習を進め、学習が「楽しい」と答える児童の割合を全国平均以上にしていく必要がある。
- ・コロナ禍をきっかけに、C-NETとの関りが減少している。かかわりを増やし外国語に対する親しみが増すようにしていく必要がある。
- ・全国調査の体力合計点では、大阪市の平均を上回っているが、全国平均には届いていない。日常的な運動を体力の向上につなげていく必要がある。
- ・児童は端末を自分で扱うことができている。学習に有効的に活用していく方法を考えていく必要がある。
- ・教職員に時間のゆとりがない。教材研究や自己研鑽に向かえる時間を確保していく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を81%以上にする。
- ・令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・令和7年度の本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を99%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を73%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の51%以上にする。
- ・令和7年度に第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を79%以上にする。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 80 % 以上にする。(77.7 %)
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(0.95 %)
- ・ 本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 98.5 % 以上にする。(98.3 %)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。(4 年+1.0 5 年+2.0 6 年-0.9)
- ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70 % 以上にする。(67.6 %)
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 72 % 以上にする。(71.2 %)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。(なし)
- ・ 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 78 % 以上にする。(77.3 %)
- ・ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73 % 以上にする。(72.8 %)

(様式2)

大阪市立鶴見小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80％以上にする。（77.7％） ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。（0.95％） ・ 本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を98.5％以上にする。（98.3％）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1、安全・安心な教育環境の実現】 学校全体でいじめについて考え、「いじめ防止」の意識を高める。 ----- 指標 学期に1回、「いじめ（いのち）について考える日」を設ける。	
取組内容②【1、安全・安心な教育環境の実現】 新たに不登校児童を増やさないような取組を推進する。 ----- 指標 学期に1回校内研修会を実施し、それをもとに子どもの実態をとらえ、適切な支援を行っていく。	
取組内容③【1、安全・安心な教育環境の実現】 情報を取り扱うための判断力や心構えを身につけるようにする。 ----- 指標 年1回以上、各学年で情報モラル教育を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

(様式 2)

大阪市立鶴見小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。 （4 年＋1. 0 5 年＋2. 0 6 年－0. 9） ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 7 0 % 以上にする。（6 7. 6 %） ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 7 2 % 以上にする。（7 1. 2 %）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【4、誰一人取り残さない学力の向上】 国語に親しみをもち、読み取る力を育てる。	
指標 週に 1 回、読書タイムを行う。	
取組内容②【4、誰一人取り残さない学力の向上】 外国語に親しむ機会を増やす。	
指標 短時間英語学習で月に 1 回以上、図書教材や CD・DVD 教材を活用する。	
取組内容③【5、健やかな体の育成】 運動やスポーツを楽しみ、積極的に取り組むようにする。	
指標 年に 2 回以上、運動の楽しさに関する啓発を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

(様式2)

大阪市立鶴見小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(なし) ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を78%以上にする。(77.3%) ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。(72.8%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 「心の天気」を毎日入力することを手始めに、1人1台学習者用端末の活用を進め、情報活用能力や自己表現力の素地を養う。 ----- 指標 1人1台学習者用端末を毎日利用する。	
取組内容②【7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 充実した教育活動に向け、教職員が休養や自己研鑽できる時間を確保していく。 ----- 指標 ゆとりの日を週に1回設定する。	
取組内容③【8、生涯学習の支援】 児童の知的好奇心に働きかけ、楽しみながら読書をする機会を増やしていく。 ----- 指標 学期に1回以上、読書を推進する取組を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	